

# こころ

## 第17号

平成20年 1 月

発行 高知厚生病院  
広報委員会

### ◆ 高知厚生病院の理念 ◆

#### 高知厚生病院の理念

- 1 私たちは、医療を通して患者さんと家族、更に地域の皆様の幸せのために努力します。
- 2 私たちは、心と心が通い合う、温かい医療を目指します。
- 3 私たちは、更に大きくお役に立つために、発展向上を目指します。



### 御挨拶

院長 山口 継志郎

平成も早や一つの節目である二十年の新年を迎えました。

明けましてお目出度う存じます。3ヶ日共良いお天気でしたので楽しいお正月をされた事とお慶び申し上げます。

去年は象徴漢字“偽”で表されました如く、まことに様々な目をおおいたくなる様な事件が多々起こりました。

又、参議院選で与党が大敗し結果として首相も交替を余儀なくされ、政治も混乱を極めました。医療界も医療崩壊の言葉が飛び交う様になりました。しかし当院としては無事大過なく過ごす事が出来た事は、ひとえに皆様の御協力御尽力によるものと、心より感謝申し上げる次第でございます。

今年は干支では一番始めの“子”の年です。干支の縁起としては“ねずみ”は繁殖力の強い事から繁栄の意味があり、特徴としては“行動と財”だそうです。勿論干支のいわれ通りゆかぬのが世の中です。今年は4月に二年振りの診療報酬改定が行われ、又、後期高齢者医療制度実施も予定されており、医療にも大きな変革が予定されています。政府は10年続けてまだ医療費削減を企図していますので、仲々バラ色の二十年とは参らぬ様でございます。一層厳しい一年が予想されるわけでございます。

しかし私共には心新たに職員一同病院理念遂行に努めるより他に取るべき道はありません。少しでも良き年になりますようお願いしましょう。

本年もよろしくお願い申し上げます。

平成20年元旦

## 第7回アジア太平洋ホスピス会議に出席して

副院長 山口 龍彦

マニラ  
その2

マニラに行く機会を持たなければ、フィリピンの人たちのことを知ろうとする機会もなかったと思う。マニラへ行くというと、その治安を心配してくださる方が多かったのであるが、行ってみると、現地人と同じ格好をしている限りにおいては、思ったほど危険という訳ではなかった。マニラ滞在の最後の日、9月30日にマニラの旧市街を歩きながら思ったことなどを書いてみたい。

フィリピン人の日本人に対する思いは複雑なものがあるに違いない。太平洋戦争で先祖を日本軍に殺された人も多いと聞く。マニラ湾の入り口にある要塞の島、コレヒドール島が日本軍によって占領された日を「バターンの日」として国民の休日とし、「バターン死の行進」によって失われたたくさんの命を忘れないようにしている。

マニラ市内にあるイントラムロスと呼ばれる城壁に囲まれた旧市街の中には、東洋の真珠と呼ばれたほどの美しいヨーロッパ風の建物が軒を連ねていたというが、日本軍の攻撃によりサンオウガスチン教会などごく一部を除いてほとんどの建造物が破壊し尽くされたという。実際に訪れてみると、未だに破壊されたまま、無惨な姿をさらしている元教会だっただろうと思われる建物なども多数あり、当時の惨劇が目につくようでもある。

ダグラス・マッカーサーが太平洋戦争前の数年を過ごし、日本軍の侵攻に耐えきれず、I shall return. 「私は（神の導きにより当然のごとく）帰ってくる」という言葉を残して去ったマニラホテルの正面に、サンディエゴ牢獄というのがある。ここには、引き潮のときは普通の牢獄だが、満潮になると海の底となる部屋があって、公開されている。ここでも、多くのフィリピン人が日本軍によって殺されたと説明される。夜中になると、今でも牢の中からうめき声が聞こえるという。



こう書いてくると、フィリピン人の反日感情は大変なものだろうと思われるかもしれないが、私の滞在中、日本人に対する攻撃的な感情に会うことはなかった。太平洋戦争中に日本人がフィリピン人に対して行った行為が劣悪なものであった割には、現代のフィリピンの対日感情がさほど悪いという訳ではないようだ。

その理由は、こういうことである。太平洋戦争の終結をもってアメリカのフィリピン植民地政策も終わりとなり、フィリピン人による建国がなされた。そして、フィリピン人が主人公の政治がなされるようになったのであるが、彼らは、中国や韓国とは異なり、学校で教える教科書に日本人に対する恨みつらみを書かなかったからである、と旅で知り合ったフィリピン通の日本人が教えてくれた。

フィリピンは16世紀からスペイン支配、イギリス支配、アメリカ支配、日本支配の時代を経てきている。そして、それぞれの国に抵抗しようとした人たちの多くが虐殺されている。しかし、

過去は過去として貴重な経験とはするが、よりよい未来を築くためには過去の恨みつらみに支配されてはならないことも知っている人たちである。フィリピンの教科書には日本は戦争の過ちを反省し、戦後は共に平和な世界を築いてゆく仲間となったことが書かれているという。

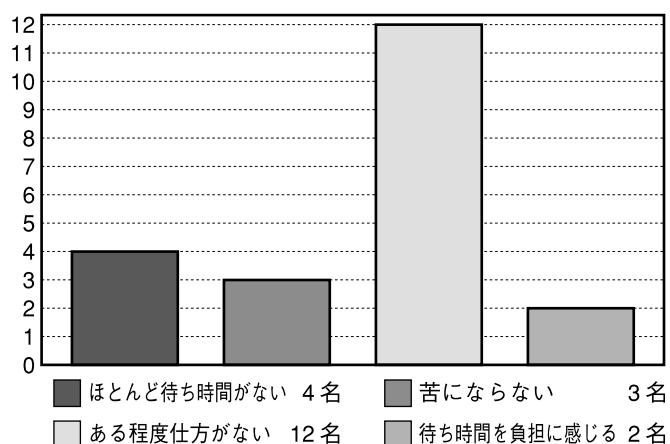
日本人も原爆や無差別の空襲による非戦闘員殺戮の過去にこだわり、アメリカ人を恨み続けていたならば現代の繁栄はなかったに違いない。日本人が、戦争犯罪という罪は憎むが、マッカーサーを敬愛する人が多く、アメリカ人を憎んでいる訳ではないのとよく似た精神的態度であると思う。フィリピン人の9割を占める人々がキリスト教徒であることが大きく関係しているのではなかろうか。

マニラ大学医学部で行われたプレカンファレンスの昼休みに、講堂の外で支給された弁当を食べていると、マニラ大学の医学部の2年生が日本語で話しかけてきた。将来は日本で勉強したいと思って日本語を学んでいるという。目の輝きが素晴らしい青年であった。多分、彼は数年後に日本のどこかの大学の医学部に勉強しにくるだろう。彼をがっかりさせないだけの日本でありたいと切に願っている。また、繁栄する日本にはフィリピンはじめアジア各国の貧困の問題にも積極的な関与が求められていることを実感した旅行であった。

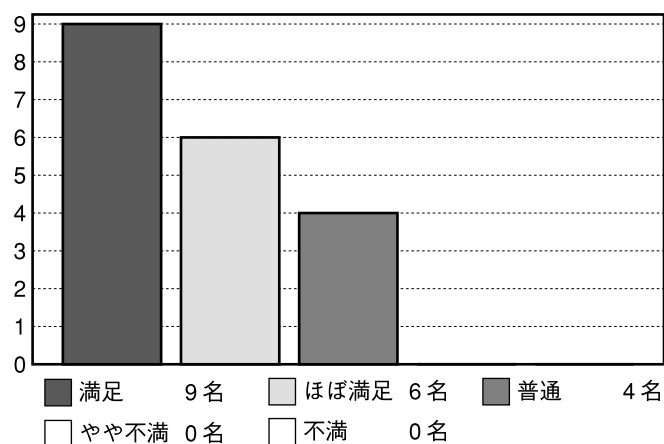
完

## 『高知厚生病院外来患者様アンケート』結果報告

### ①待ち時間をどのように感じられますか？



### ②全体的な当院の満足度を5段階で評価してください



12月18日（火）当院外来を受診された患者様を対象として、無記名アンケートを行いました。結果の一部をご報告いたします。（131名中24名 回収率18%）

受付から診察までの待ち時間30分以内、診察後会計までも20分以内の方が大半でした。①待ち時間について②全体の評価は左記のグラフに示しています。

ご協力いただいた皆様ありがとうございました。日常業務の向上に役立てて行きたいと思います。

今回は回収率が18%と参加していただいた方が少なかったため、次回はもっとアンケートに参加していただきやすい工夫をしていきたいと思っています。

ご協力ありがとうございました



### 3 階長期療養型病棟

私たちは、安全で安楽な療養生活の実現を目指し、日々創意・工夫を重ねております。

長期療養型病棟は、医療と介護を同時に提供する施設です。患者様には、ご家庭に居るような居心地の良さを感じていただけるよう、日常生活の援助をはじめ、より良い医療とリハビリの提供をしております。そのために私たちは医師をはじめ理学療法士、栄養士、看護師、介護職員、ケアマネージャー、ソーシャルワーカーが一体となってサービスしています。

一方、設備面では車椅子が入るに十分な広さの病室と、食堂ホール、特殊浴槽、リハビリ室と長期療養に必要な施設を整えています。

また、当病棟では患者様が生きがいを失わず、日々の療養生活が楽しめるように、季節に応じて夏祭り、運動会、クリスマス会等を行っています。また地域のボランティアの方々による日本舞踊、フラダンス、琴の演奏会も開催しています。どうぞお気軽にご相談ください。



## 院内行事

### 12月18日 クリスマス会



12月18日に通所リハビリテーションこうせいで恒例のクリスマス会が行われました。高須にっこりROOMの子どもさんたちが遊びにきてくれました。

通所リハの職員からの出し物は、ハンドベル・合奏・合唱の3本立て。

練習の成果もばっちり出て?! ダンスも完璧??? でした。

### 12月19日 クリスマス会 清和女学園ハンドベル

12月19日に院内合同クリスマス会が行われました。清和学園の学生さん達が来院してくださって、ハンドベルを演奏してくれました。今年のクリスマス会にでも演奏して下さった生徒さん達の、一回り成長した姿がとてもまぶしく、幸せな気持ちになりました。



### 編集後記

あけましておめでとうございます。地域の皆様に喜んでいただけるような広報誌になるよう、努力していきたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。